

KVK 分岐水栓・分岐孔付流し台用シングルレバー式混合栓 KM345(Z)MS(TU) (各仕様共通) 取扱説明書1

■使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
■この取扱説明書はKM345MSTU仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いすれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、**「禁止」**の内容です
この絵表示は、**「分解禁止」**の内容です
この絵表示は、**「接触禁止」**の内容です
この絵表示は、**「必ず実行していただく」「強制」**の内容です

やけど、漏水をした場合の処置 **やけど** やけどをした場合は、すぐ、その箇所を水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃以上はダメ</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>器具の左側及び分岐水栓（給湯接続の場合）は給湯側のため高温になっています。器具（金属）の表面に直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
<p>高温の湯をお使いのときは吐水口を高圧になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>漏水をお使いになる前に、必ず手で湯温かどうか確かめてください。</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯をお使いになるときは、必ずレバーを水側にしてから開閉してください。その後徐々に湯側を閉鎖し、お好みの温度に調節してください。</p> <p>湯側を先に開けると、高温の湯が吐水して、やけどをするおそれがあります。</p>

<p>レバーハンドルの位置で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p>位置を確かめよう</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ずレバーを水側にし、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p>水を流さないで次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>お湯を使用した後で次に使用する時、若干温度変化する場合があるので、しばらく吐水させて湯温が安定してからお使いください。</p> <p>湯温が安定してから</p> <p>しばらく吐水させないと、やけどをするおそれがあります。</p>
<p>寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、漏水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解水のため解水機をご使用の場合、水栓（給水・給湯管含む）には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>止水キャップ（分岐孔）は接続時以外ははずさないでください。</p> <p>接続時以外にはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、漏水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。</p>
<p>分岐水栓付仕様の場合 吐水口を分岐水栓にぶつけないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>食器洗い乾燥機・浄水器・浄水器などの作動中は、シングルレバー水栓を使用しないでください。</p> <p>水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>分岐水栓付仕様の場合 給水ホースが接続されていない場合は、ワンタッチノズルの先端（白い部分）を押さないでください。</p> <p>高温が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また給水ホースが接続されていない場合は、分岐水ハンドルは必ず閉めてください。</p>
<p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつかけたり磨いたりしないようにしてください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>分岐水栓付仕様の場合 ワンタッチノズルの圧逃しを行う場合は、分岐水ハンドルを確実に開けてからノズルをはずしてください。</p> <p>分岐水ハンドルが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、漏水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>レバーハンドル及び分岐止水ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>湯栓が予想される際は、一般の湯栓をお使いの場合、少量の水を出しておく、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。凍結仕様をお使いの場合は配管の水抜き作業と水栓金具の水抜き作業を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

ご使用前に / ご使用方法 1

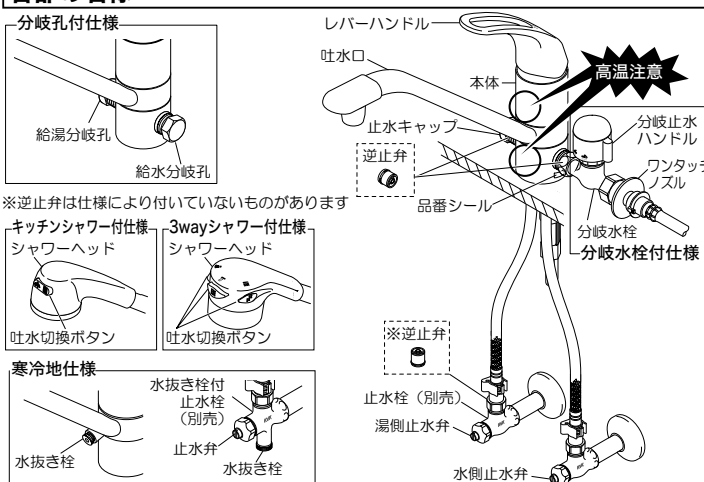
給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- レバーハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。（瞬間型の場合）
- レバーハンドルを全開すると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。（それによって給水圧力が低く、吐水量が多すぎる場合はレバーハンドルで調節を行ってください）
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。（瞬間型の場合）

分岐水栓の使用上のご注意（分岐水栓付仕様の場合）

- 止水キャップ（分岐孔）は接続時以外ははずさないでください。接続時以外にはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、漏水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。
- 給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端（白い部分）を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 分岐水栓のワンタッチノズルには緊急止水機能が付いているので、万一給水ホースがはずれた場合や給水ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて漏水されません。
- 分岐水栓は給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器、浄水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。（分岐水栓を付けたままの場合は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください）又、食器洗い乾燥機の場合、給湯機の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。
- 接続の場合は、接続する機器（食器洗い機等）の給水条件及び施工上の注意事項をよくご確認ください。
- 分岐水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。
- 給水ホースをはずす際は、必ず分岐止水ハンドルが開まっていることを確認してください。湯中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

各部の名称



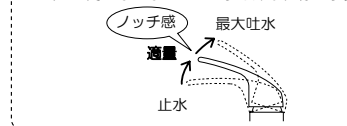
温度、出し止め、量の調節方法

レバーハンドルを右へ回すと熱くなり、左へ回すと冷くなります。レバーハンドルを上げるると吐水、下にはいまで下げると止水します。上へ上げるほど流量が増します。

- 【警告】 湯水をお使いになる前に、必ず手で湯温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 【注意】 レバーハンドルは無理な力を加えずゆっくり操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー（水撃）音が発生するおそれがあります。

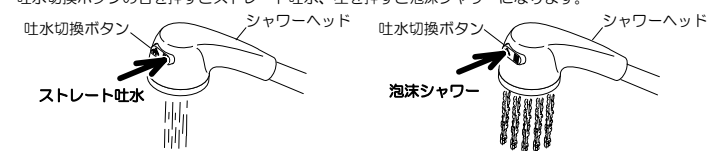
Eコノッチ付仕様の場合

止水位置と最大吐水位置のおおよそ中間の付近でノッチ感があります。全開吐水前にレバーハンドルにノッチ感を与え、一気に全開にならないようにする節水仕様です。



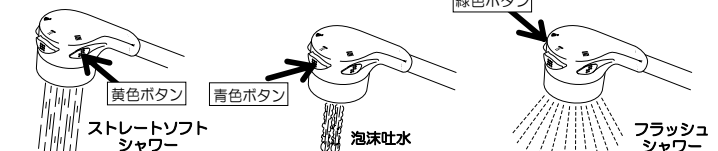
吐水の切換方法（キッチンシャワー付仕様の場合）

吐水切換ボタンの右を押すとストレート吐水、左を押すと泡沫シャワーになります。



吐水の切換方法（3wayシャワー付仕様の場合）

吐水切換ボタンの黄色ボタンを押すとストレートソフトシャワー、青色ボタンを押すと泡沫吐水、緑色ボタンを押すとフラッシュシャワーになります。



- 特に野菜洗いや、径の小さい食器洗いに適しています。
- 水はねが少なく、泡を含んだやさしい吐水です。
- 特に大なべや、径の大きい食器洗いに適しています。

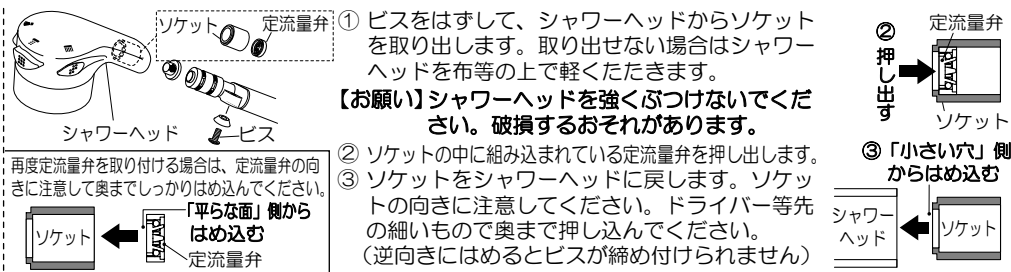
【お願い】 吐水切換ボタンは2つ同時に押さないでください。故障の原因となります。

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナは凍っていませんか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにぬるま湯をかける	—
	[3wayシャワー付仕様の場合] 給水圧力が低い場合、定流量弁を取りはずすと改善されることがあります		※下記参照
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	5ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
吐水が飛び散る	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等が詰まっていますか	泡沫器・シャワーフェイス・ストレーナを清掃する	6ページ 「泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイスの清掃方法」
給水ホースがはずれた状態で湯水が出ない	緊急止水機能が働いて通水されないしくみになっています。故障ではありません。給水ホースを再度取り付ける際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。		5ページ 「ワンタッチノズルの圧逃し方法」

※[3wayシャワー付仕様の場合] 給水圧力が低い場合、定流量弁を取りはずすと改善されることがあります



【カートリッジのメンテナンスをする場合】

- 【△ 注意】・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。カートリッジのメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
- ・専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。吐水口、レバーハンドルを持ってははずすと破損のおそれがありますので、これらは持たないでください。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください
水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。(シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください)

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
技術料…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
部品代…修理に使用した部品代
出張料…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL ☎0120-474-161
上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは**058-234-8946**をご利用ください。受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

株式会社 KVK
本社・工場/〒501-1195岐阜市黒野308/TEL058-239-3111 代表
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>